

大麦情報(5号)

令和6年4月3日
砺波農林振興センター
JAなんと営農部

1 生育概況

積雪が少なかったため、管内の大麦の生育は、平年より早くなっています。
また、茎数が多く、葉色がやや濃いなど、生育が旺盛となっています。

今後、気温が平年より高く推移した場合、止葉展開期は4月3日～4月10日頃と早くなっています。出穂期は4月13日～20日頃と予想されます。

【JAなんと管内大麦ほ場調査結果(3/28 細木)】 ※()は予想

	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (mm)	葉齢	止葉 展開期	～ (日数)	出穂期
6年産	886	46.1	9.0	12.5	(4月6日)	10日	(4月16日)
5年産	744	46.1	19.6	12.7	4月2日	10日	4月12日
平年(過去10年)	811	43.3	12.8	11.6	4月10日	10日	4月20日

2 当面の技術対策

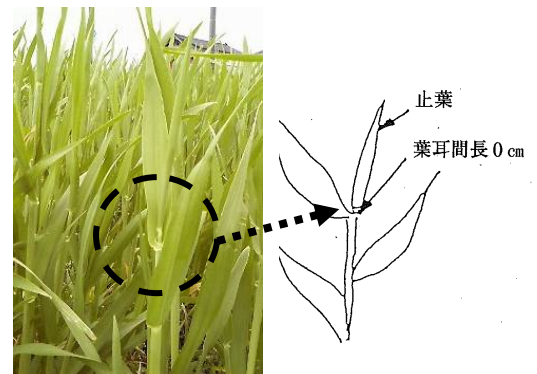
(1) 止葉展開期追肥(分施肥系)

追肥時期が遅れると硝子率が増加し、品質が低下するため、茎数と葉色を確認して、遅れずに施用して下さい。

追肥時期の目安 4月3日～4月10日頃

表 止葉展開期の追肥量の目安

葉色 (SPAD値)	予想穂数 (本/㎡)	硫安の追肥量 (10aあたり)
5未満 (45未満)	500本未満	10kg
	500本以上	5～10kg
5以上 (45以上)	500本未満	5kg
	500本以上	追肥しない (ムラ直し程度)



<止葉展開期>
葉耳間長±0cmの茎がほ場の
40～50%に達した日

「エコ大麦44号」を施用した場合は、追肥は必要ありません

※茎数が少ない場合(500本/㎡以下)などは、JAなんと営農部または砺波農林振興センターへお問い合わせください。

(2) 排水溝、排水口の手直し

一部で停滞水により葉色が薄いほ場が見られます。ほ場毎に排水溝の崩れや排水口への連結、排水口の掘り下げ等を再度手直しし、湿害を確実に回避しましょう。

春の農作業安全運動実施中(3月1日～5月31日)

お問い合わせはJAなんと営農部(62-0261)
または砺波農林振興センター(32-8147)へ

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから→

